

6月定例会

6月14日から
16日まで

災害復旧費など可決

概要

岩沼市議会の6月定例会(平成23年第2回議会)は6月14日に招集され、3日間の会期で開かれました。
今定例会は、市が東日本大震災の対策等に追われていることや議場の損壊等を考慮し、一般質問を取りやめ、議員全員協議会において質疑等を行いました。

平成22年度補正予算や東日本大震災に係る条例改正等17件の専決処分を全会一致で承認。また、平成23年度補正予算11件(うち専決処分6件)を承認、可決したほか、壊滅的な被害を受けた千寿荘の廃止条例を可決しました。
平成23年度一般会計補正予算は、東日本大震災に係る被災者支援、施設応急復

旧、災害廃棄物処理、災害復旧費等を盛り込んだ、総額185億円の補正予算を原案通り可決しました。
東日本大震災による災害被害者に対する岩沼市市税等の減免に関する条例については、被災地域の線引きで異論が出たものの賛成多数で可決しました。

最終日には、発議案3件が提案され、定数削減に関する条例は賛成多数で、長期欠席する場合の議員報酬等の減額に関する条例等は全会一致で可決しました。
現行保育制度を堅持、拡充すること等を求めた保育制度改革に関する意見書は賛成多数で可決しました。

議員定数21人から18人に

議員提案

◆発議案1号 岩沼市議会議員の定数に関する条例(一部改正)

提案理由「現下の厳しい社会経済状況は、地方自治体の財政も同様で、全国的な議員定数削減の動きが見られる。岩沼市

も、より一層の行財政の効率化が求められる中、市民からも定数削減の声が聞かれるため、3人を減らし18人とするもの」
質疑①「市民の声を吸い上げる議員の役割が行財政の効率化で削られていいのか。地域の少数意見の排除にならないか」

提出者答弁「2名欠員でも支障なく運営し、十分市政に反映してきた」
質疑②「なぜ2名でなく3名か」

提出者答弁「現状は2議席減だが、さらなる努力が求められている」
質疑③「市民の被選挙権、選挙権を狭めるものがある。公聴会を開き市民の声を聞くべきでは」

提出者答弁「議会報告

災害情報伝達の防災無線設置

主な議案

◆議案27号 岩沼市一般会計補正予算(第3号)

歳入、歳出とも21億4095万円を追加し、総額185億8683万円とするもの。主な歳入は、東日本大震災に係る災害復旧費、災害廃棄物処理費、私立保育園改修費助成など。主な歳出は、がれき等の処理のほか、災害情報の伝達・収集体制の整備など。
質疑①「通信手段として防災無線等を備えるか」

答弁①「玉浦公民館周辺に屋外拡声子局を設置します」

質疑②「設置台数と聞こえる範囲は」

答弁②「1台設置し、範囲は300m以内です」

質疑③「停電した場合は大丈夫なのか」

答弁③「停電しても使用できるように整備します」

質疑④「十分に検証してから設置すべきでは」

答弁④「まず設置し、運用面により効果が得られるかを検証します」

陳情

◆陳情4号 TPP交渉及び水田農業の確立に関する要請書

◎陳情者 名取岩沼農業協同組合代表理事組合長

議員の退職

後藤一利議員は、4月30日付で、退職しました。